＜定例会の主な議題及び要旨＞　　**令和８月１０月１５日（木）**

【協議事項】

１　警察職員の特別派遣について

（警備部）

警察本部から「天皇皇后両陛下の第４１回国民文化祭、第２６回全国障害者芸術・文化祭御臨場及び地方事情御視察に伴う行幸啓警衛警備のため、高知県公安委員会から本県公安委員会に対して援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

１　グループ別警察署長会議の開催について

（総務部）

警察本部から「１０月下旬に開催するグループ別警察署長会議については、県内３６警察署を４グループに分けて開催し、現下の治安課題を踏まえ、グループごとに設定した協議項目について、各警察署の取組状況や推進上の課題等を双方向型の会議形式で協議することとしている。」旨の報告があった。

２　福岡県の職員の給与等に関する人事委員会報告及び勧告の概要について

（警務部）

警察本部から「福岡県人事委員会から福岡県議会及び知事に対して、県職員の給与と民間の給与との較差是正及び諸手当の見直しの必要性に関する報告及び引上げに関する勧告が行われた。」旨の報告があった。

３　令和８年福岡県殉職警察職員慰霊祭の実施について

（警務部）

警察本部から「明治９年以降の本県殉職警察職員１６２柱の御冥福をお祈りするため、１０月３０日、警察学校において、令和８年福岡県殉職警察職員慰霊祭を執り行う。」旨の報告があった。

４　口座売買グループによる詐欺等事件の捜査終結について

（生活安全部）

警察本部から「城南警察署等２所属及び愛媛県警察等３県警察は、第三者に利用させる意図

があることを秘して、銀行及び暗号資産交換業者の口座を不正に開設したほか、匿名性の　高いSNSを利用して、これらの口座情報を売買する等した被疑者５名を詐欺罪等で逮捕し、所要の捜査の結果、余罪についても送致して捜査を終結した。」旨の発言があった。

公安委員から「被害法人はどこか。」旨の発言があり、警察本部から「金融機関等である。」旨の説明があった。

公安委員から「募集に使用されたSNSは何か。」旨の発言があり、警察本部から「主にＸ（エックス）である。」旨の説明があった。

５　大川市における殺人及び死体遺棄事件被疑者の逮捕について

（刑事部）

警察本部から「筑後警察署等２所属は、昨年と本年の２度にわたり、自宅において出産した２人の男性嬰児を両大腿部で挟んで締め付け、それぞれ窒息により殺害した後、昨年出産した嬰児にあっては自宅の押入れに隠匿後、自宅付近の用水路に遺棄し、本年出産した嬰児にあっては自宅押入れに遺棄したとして、８月４日以降、被疑者を殺人と死体遺棄の事実で順次逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者は家族と同居しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「実母と二人暮らしである。」旨の説明があった。

６　詐欺事件被疑者の逮捕について

（暴力団対策部）

警察本部から「若松警察署等２所属は、賃貸契約で「暴力団員の入居禁止」「追加入居者は書面で承諾が必要」と定められている賃貸マンションに、令和７年１２月以降、暴力団員である被疑者が新たに入居したにもかかわらず、管理会社に対し、契約内容に変更がない旨を申告し、同マンションに継続して居住することができる権利を騙し取ったとして、９月３０日、被疑者２名を逮捕した。」旨の報告があった。

７　監禁・所在国外移送略取事件被疑者の逮捕について

（暴力団対策部）

警察本部から「博多警察署等５所属は、被害者を特殊詐欺の架け子として海外に渡航させるため、福岡市博多区所在の飲食店個室に連れ込み、監禁し、同日、国外に移送させる目的で被害者を監視のうえ福岡空港国際線まで移動させたとして、１０月７日及び８日、被疑者５名を

逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者らは全員暴力団組員なのか。」旨の発言があり、警察本部から「暴力団組員以外も含まれる。」旨の説明があった。

公安委員から「被疑者は報酬を得ているのか。」旨の発言があり、警察本部から「現在、捜査中である。」旨の説明があった。

８　サイバーインシデント共同対処訓練の実施について

（警備部）

警察本部から「サイバーインシデント発生時における被害通報のタイミング、証拠保全、被害拡大の防止等の初動対処について、攻撃の標的となるおそれのある事業者と警察が共同で訓練をすることにより、相互に対処能力の向上を図る目的で、１０月２０日から３日間、サイバーインシデント共同対処訓練を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「被害企業等は、警察へ通報する意識は高くないと思われるので、警察に通報する意識を浸透させていただきたい。」旨の発言があり、警察本部から「企業等が警察に速やかな通報ができるようになることが大切と考えており、今回の訓練で意識の浸透を図っていく。」旨の説明があった。